

実践授業指導案 （第1回目）

学級の実態：自己主張の強い子どもが学級を中心となり、雰囲気壊し、他の子どもたちは、自分を押し通して生活せざるを得ない状態である。また、自分の思いを表現できない女子が多い。仲の良い友達とのトラブルがあり、登校渋りが見られる子どもがいる。そこで、非言語の活動で心理的緊張をほぐすエクササイズを設定した。

エクササイズ名：「パースディーライン」「ビンゴゲーム」
 （構成的グループエンカウンター）

ねらい： 非言語の活動を通して心理的緊張をほぐす。
 楽しい活動をみんなで行うとともに、仲間と心を開くきっかけにし、自分との共通点を見つけ仲間意識を持たせる。

準備：ビンゴカード（16マス）、ふりかえりカード、筆記用具

時間	学習内容・学習活動	教師の支援や留意点
8分	1 パースディーラインを行う ルール： 言葉を使わずに身振り手振りで、1月～12月まで誕生日順に並ぶ。	ルールを全員が理解できるまで丁寧に説明をする。 担任も一緒に行く。 間違っていた児童を正しい場所に誘導する。
25分	2 ビンゴゲームを行う ねらいを静かに聞く ルール： 16マスに自分の好きな給食のメニューを書く 全員が書き終わったら、一人ずつ発表していく リーチのときは「リーチ」と言って手を挙げる ビンゴになったら「ビンゴ」と言って立ち上がる ビンゴになった人に「おめでとう」を言う ビンゴになった人は「ありがとう」と言う	ルールを全員が理解できるまで丁寧に説明をする。 ルールを徹底させる。 「さん、あなたの好きな給食のメニューは何ですか？」と一人一人に尋ねるようにする。 友達の発表を1回で聞くようにさせる。
12分	3 ふりかえりを行う 感想を発表し合う。 ふりかえりカードに記入する。	気づいたことや感じたことを正直に記入させる。

ビンゴゲーム

実施日 月 日

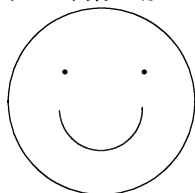
年 組 名前

あなたの好きな給食のメニューは、何ですか？

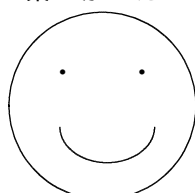
ふりかえりシート

1 ビンゴゲームは楽しかったですか。

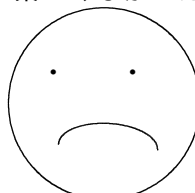
すごく楽しかった



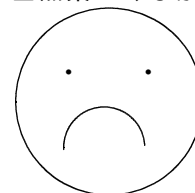
楽しかった



楽しくなかった



全然楽しくなかった



2 ビンゴゲームをして、気がついたこと、感じたこと、思ったことを自由に書きましょう。